



「新しい一年、当たり前を信じて」

校長 平沢 晃

春和の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和7年度がスタートしました。本年度は、8日の入学式にて1年生259名を迎え、2年生218名、3年生244名の全校生徒721名の通常級20学級、特別支援級での船出となりました。お子様たちは新たな希望を胸に、今年度の中学校生活をスタートさせたことと存じます。

新しいクラス、新しい仲間との出会いは、かけがえのない経験となり、成長への大きな一歩となることでしょう。多くの人がいるということは多くの考えが生まれ、多くの価値観にふれることができます。人とたくさん関わることで自分が体験できないことも知ることができ、自分の視野が広がります。そこから新たな発想が生まれていきます。人が増えることで活力が高まります。さらに、多くの活動がより活発になります。多くの知恵が集まり、新たなものを生み出す力が芽生えていきます。これらの利点と多くの人々のマンパワーを活動に生かしていければと思うしだいです。その反面、人が多いと言うことは、課題も多く生まれることも事実です。相手との違いを理解し、相手を尊重し、そして自分を大切にすること。そんな豊かな心を育むことも大切にしていきたいと思っています。

また、今年度も引き続き、『3中LOVE triple3』（※参照）をスローガンとし教育活動に取り組んでまいります。人は、自分が好きな場所では、心も安定し、安心して過ごすことができます。そして、さまざまな行動も思いを込めて取り組むことができます。そんな場を目指し、自分たちの生活の場である学校をよりよくしていきたいと思っています。

この新たな一年の始まりにあたり、保護者の皆様に改めてお考えいただきたいことがございます。それは、私たち大人が普段何気なく意識している「当たり前のこと」「普通のこと」が、お子様たちの成長にとって、いかに大切であるかということです。

朝、きちんと起きて学校へ行くこと。授業中、先生の話に耳を傾けること。宿題を忘れずに提出すること。友達と挨拶を交わすこと。廊下を走らないなどルールを守ること。教室をきれいに保つこと。これらは、学校生活を送る上で、本当に「当たり前」のことばかりです。しかし、この「当たり前」のことを毎日きちんと続けることは、お子様たちの生活の土台となり、学びの質を高め、周りの人との信頼関係を築く上で、欠かすことのできない大きな力となります。考えてみてください。朝、気持ちよく挨拶をすることで、一日を気持ちよくスタートできます。授業に真剣に取り組むことで、新しい知識をしっかりと身につけることができます。提出物をきちんと出すことは、責任感を養い、次のステップへと繋がります。これらの「当たり前」の積み重ねが、お子様たちの成長を大きく後押ししてくれるのです。

もちろん、中学校生活は毎日が順風満帆とは限りません。時には、少しだけ頑張る必要があることや、我慢しなければならないこともあるでしょう。しかし、そのような時こそ、「当たり前のこと」をしっかりと行うことが、困難を乗り越える力となります。

新しい一年、私たち教職員一同は、この「当たり前のこと」「普通のこと」を、改めて大切に一年にしたいと考えております。それは、決し



て簡単なことではありません。時には、意識して努力する必要があるかもしれません。しかし、生徒一人ひとりが「当たり前のこと」をしっかりと行うことで、小平第三中学校は、より活気にあふれ、誰もが安心して学べる素晴らしい場所になると信じております。

この一年が、お子様たちにとって実り多き、充実した一年となるよう、教職員一同、全力でサポートしてまいります。保護者の皆様におかれましても、お子様たちがそれぞれの目標に向かって、一歩ずつ、着実に歩いていけるよう、温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。そして、その成長の過程で、「当たり前のこと」が持つ大きな力を、ぜひ実感させてあげてください。

※参照

『 3中LOVE triple3 』

○LOVEは、文字のとおり愛です。LOVEの一文字ずつに語呂合わせで意味をもたせています。
「L」は、Lenient(リーニエント) 日本語では「寛大な、情け深い」から「他人を認める、わかり合う」。
「O」は、Oomph(ウムフ) 日本語では「元気、活力」から「物事に全力で取り組む」。
「V」は、Veracity(ヴェラスィティ) 日本語では「誠実さ、正直さ」から「物事を真摯に受け止め、正しいことをする」
「E」は、Enrich(エンリッチ) 日本語では「豊かにする、質を高める」とEffort(エフォート)日本語では「努力、尽力」の二つより「未来を創造し、今を充実させる」という意味合いをもたせました。

Otriple3・・・三中にある私たち教職員の合い言葉「つくる」「つながる」「つたえる」
「つくる」は「生徒たちが変化する社会の主体的に生きるために必要な資質・能力を育成する教育活動を創造・実践する」から Creation(クリエーション)
「つながる」は「生徒の学びと成長のために、教職員、子供、保護者、地域がつながる教育を展開する」から Connect(コネクト)。
「つたえる」は「透明性の高い学校を目指し、教育活動の取組を積極的に保護者、地域に発信する」から Communicate(コミュニケーション)
としその頭文字の「C」を取り、トリプルCとしています。

1学年より

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして新2・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。

第1学年の大きな目標は「初志貫徹」です。多くの生徒が始業式・入学式を迎えるにあたり、自分の目標を立てたことだと思います。その目標を自分の柱にして勉強や部活動に励んでいきましょう。辛いことや甘い誘惑もあるでしょうが、その柱(目標)を忘れず邁進してもらいたいと思います。

私の柱は「感謝・懸命・謙虚」です。感謝を忘れず、何事も懸命に取り組み、謙虚な姿勢を大切に人になってもらいたいというのが私の柱です。自分の柱を忘れず、1年間過ごしていきましょう。

【1学年主任】

2学年より

令和7年度、第2学年は212名の生徒とともに出発しました。

4月7日の始業式には、多くの生徒が笑顔で登校してくれ、今年度も生徒と一緒に充実した学校生活を送り、最高の学年をつくっていききたいと強く思いました。

2年生には、中堅学年として「何ができるのか」、「何をすべきなのか」を考え、日々行動してほしいです。また、今年度の学年目標は、失敗を恐れず挑戦する気持ちを大切にしてほしいという願いから、「進取果敢」に決定しました。学校行事や部活動、委員会活動等の様々な場面で自ら進んで積極的に行動してくれることを期待しています。さらに、小平第三中学校は今年で創立65周年を迎えます。先輩たちが受け継ぎ、発展させてきた良き伝統を見習い、一層素敵な学校をつくり上げてほしいです。



最後になりますが、保護者の皆様、今年度も212名すべての生徒にとって学校が安全で安心して過ごせる環境づくりに全力で取り組んでまいります。1年間、よろしくお願いいたします。

【 2学年主任 】

3学年より



「進級おめでとうございます」

新三年生のみなさん、進級おめでとうございます。

中学校生活最終年を迎え、多くの人が新年度の生活に心を躍らせていることでしょう。中学校生活もはやいもので、最後の一年となりました。昨年度同様、新しいクラスメイト、新しい担任、新しい学年の先生といった新しい環境に不安や戸惑いは誰もがあります。もしかしたら今年度は、受験があって自身の進路を決めていく大事な一年ということで不安が大きい人が大半ではないでしょうか。それでも、たくましく成長してきた自分自身と、学年の仲間を信じ、そして、今までお世話になった先生方からの教えを胸に、今年度も飛躍の一年にしていってほしいと思います。

今年度の学校行事は三年生にとって、すべてが「最後の」という言葉が付きます。中学校生活最後の運動会、音楽祭、校外学習、どの行事も三中での最後の学校行事になります。その一回一回、一瞬一瞬をぜひ惜しみながらも、後悔のない充実した時間にしていきましょう。

来年3月19日に、学年全員が笑顔で卒業式が迎えられるように、先生方も協力を惜しみません。ともに最高の一年間を創り上げていきましょう。

【 3学年主任 】

10組より



「今年度のスタートにあたって」

今年度から学級名が「10組」と変更となり、新入生6名を迎えて、3学年合わせて19名で元気にスタートしました。

入学式の翌日に、10組で1年生を迎える会を行いました。1年生に向けて手品をしたり、けん玉のスゴ技を披露したり、ジェスチャークイズをしたり、緊張している1年生が早く中学校に慣れるように、2、3年生が前に出て出し物をしてくれました。1年生が楽しんでいたのも目標は達成できましたが、何よりも、昨年度まで消極的だった上級生が、緊張や恥ずかしさをこらえて前に出て明るく演じていたことに驚き、一歩前に踏み出せたことをうれしく思いました。

10組には、たとえ苦しいことがあってくじけそうになっても、励まし支えてくれる仲間がいます。人と比べて「自分はだめなんだ」と自己肯定感が下がることなく、自分のよい所を伸ばしていってほしいです。仲間たちとたくさんの経験をし、有意義な中学校生活となるように、私たち教職員は取り組んでいきます。

【 10組学級主任 】

復帰・転入職員から



国語科の〇〇〇〇です。1年ぶりに三中の皆さんの笑顔を見ることができ、最初の1週間を気持ちよく明るい気持ちで過ごすことができました。700人を超える皆さんのパワーに負けないよう、一緒に全力で過ごしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

【3年（国語科）】

また、三中に戻って皆さんと一緒に過ごせることになってとてもうれしく思っています。三中は小平市で一番生徒数が多いと聞いています。廊下でのすれ違う場面など、気を使う場面も多いと思います。一緒に頑張っていきましょう。どうぞよろしくお願いします。

【3年 (理科)】

前年度の9月より、育児休業をしておりました。4月から再び三中で働くことができて大変嬉しく思います。学校行事や授業、委員会活動や部活動など様々な場面で生徒とかかわり、一生懸命に頑張る姿や一人ひとりの成長を近くで見ることが出来る喜びを楽しみに、私自身も頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【3年 (数学科)】

今年度より、小平第三中学校に赴任することになりました鈴木裕悟です。教員一年目で分からないことも多くありますが、少しでも生徒や保護者の皆様、そして三中の力になれるように頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

【3年 (社会科)】

今年度から小平三中に来た〇〇〇〇と申します。

以前は大阪府の中学校で勤務していました。生まれも育ちも関西で緊張しながらやってきたのですが、皆さんに温かく挨拶して迎えていただけてとても嬉しく思っています。たまに関西弁が出てびっくりさせるかもしれませんが、これからよろしくお願いいたします。

【2年 (家庭科)】

4月から1学期のみ1,2年の英語を担当することになりました〇〇〇〇です。一昨年まで三中に勤務していたので3年生には覚えている人もいると思います。前職で銀行の海外支店に長年勤務していたので、ローカルスタッフが発音可能な名前にと呼称を'Albert'として仕事をしていました。別にアメリカかぶれではなく、グローバルにあらゆる国籍の人と渡り合うのに都合がよかった訳です。皆さんも気軽に'Albert'とお声がけください。部活はソフトテニス部で、硬式テニスの経験があるのでどんな指導ができるか楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

【2年 (英語科)】

今年度から異動してきました〇〇〇〇です。

花小金井に縁があり、以前に住んでいたため、この地域で働けることを嬉しく思っています。生徒や地域のために頑張りますので、よろしくお願いいたします。

【1年 (数学科)】

今年度着任いたしました美術科の〇〇〇〇です。

「子どもは誰でも芸術家」というピカソの言葉があります。心豊かに自由な発想で作品がつかれるよう、良い雰囲気での授業を頑張ります。中学生は、これからまだどんどん成長できます!よろしくお願いいたします。

【1年 (美術科)】

今年度より、小平第三中学校に着任いたしました〇〇〇〇です。

昨年度は今の3年生の副担任として、関わらせていただきました。生徒の皆さんが、学校生活を楽しく過ごせるように努力をしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

【1年 (理科)】

広島県から来ました、新規採用の〇〇〇〇です。担当教科は国語科です。

自身の中学校生活を振り返り、生徒の立場に立った指導を心がけたいと考えています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

【1年 (国語科)】

生徒の活躍



☆卓 球

- 第 62 回小平市民体育祭卓球の部
 - ・女子団体戦 【3位】 4名チームで参加
 - ・シングルス 【優勝】 1 名

これからの予定



- 4月 17 日(木) ・全国学力状況調査 (3年)
 - ・中央委員会 ・尿検査 1 次(1 回目)
- 4月 21 日(月) ・生徒会朝礼 ・眼科検診 【5 時間授業】
- 4月 22 日(火) ・部活動仮入部(終) ・学校経営協議会(CS)
- 4月 23 日(水) ・内科検診(3 年) ・部活動本入部締め切り
 - ・小平市立中学校教科等研究会【4 時間授業・給食あり】
- 4月 24 日(木) ・尿検査 1 次(2 回目) ・中央委員会
- 4月 25 日(金) ・保護者会(学級懇談会) ・部活動保護者会【4 時間授業・給食あり】
- 4月 28 日(月) ・1 校時と 6 校時入れ替え ・専門委員会 ・離任式
- 4月 30 日(水) ・小平市一斉引き渡し訓練
- 5月 1 日(木) ・セーフティ教室 ・学校公開日
- 5月 2 日(金) ・生徒総会 ・歯科検診(3年)
- 5月 7 日(水) ・心臓検診(1 年) ・地域未来塾
- 5月 8 日(木) ・耳鼻科検診(1 年) ・避難訓練
- 5月 9 日(金) ・歯科検診(2年)
- 5月 13 日(火) ・尿検査 2 次 ・専門委員会
- 5月 14 日(水) ・尿検査 2 次(該当者) ・内科検診(2年)
- 5月 15 日(木) ・中央委員会

